［消流雪用水とは］

雪国の冬期生活を救う 消流雪用水

雪の多い地域では冬になると雪を捨てる場所がなくなり、除雪作業が大変なものとなります。そのため市街地を流れる河川への投雪により、慢性的な水不足による雪づまりが生じています。また道路に山積みされた雪によって、人や車の安全な通行が妨げられ人々の生活にも大きな影響を与えています。消流雪用水導入事業は、このような地域で暮らす人々の生活を守るために、最上川から水をくみ上げて名木沢地区を流れる河川へ水を流すことにより雪づまりを解消するとともに、河川から水路（流雪溝）へ流れた水により雪をどんどん流すことによって、除雪作業を楽に早くできるようにし、また安全な通行にも寄与するものです。



消流雪用水導入事業の効果［大石田町の場合］

もしも流雪溝が整備されていなかったら

平成18年2月7日
大石田地区の
積雪深237cm



ダンプトラック
10t積で



一冬で
23,600台分の運搬排雪が必要

安全な
車道・歩道の確保
除雪作業の軽減

■消流雪用水導入効果状況写真



流雪溝未整備地区
（大石田町岩ヶ袋地内）



流雪溝整備地区
（大石田町本町地内）

平成18年豪雪で

運搬費用 7,800万円 軽減されました

導入された地域住民の喜びの声

大石田町に生まれて７０数年。流雪溝のお陰で冬の生活は格段に向上しました。
道路除雪だけではなく、屋敷周りの雪はもちろん屋根の雪降ろしの雪もなんなく処理できます。妻と二人暮らしの高齢者（老人）家庭も明るく冬を送れます。
ほんとに助かります。



大石田町　阿彦さん（新町）男性

当地区は、流雪溝の整備前と比べ除雪作業が随分と軽減されてきました。除雪作業は労力だけでなく、排雪場所の確保など精神的なダメージがどうしても伴います。その点流雪溝は排雪場所の心配も要らず、排雪場所等をめぐる近所同士のトラブルもないようですし、通勤通学等の歩行及び車両通行の安全性が改善されております。今後におきましても除雪作業の軽減及び交通の安全確保の為、更なる整備をお願いします。



真室川町　黒坂さん（東町２）男性